

漢字のまとめ2

新出漢字

三回書いてみましょう。送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

		尻	畿	藩	措	玩	糾	窮	唄	遡	賜	畏	嫉	融	牙
		しり	キ	ハン	ソ	ガン	キユウ	キユウ (きわーめる) (きわーまる)	うた	さかのぼる (ソ)	たまわーる (シ)	おそーれる イ	シツ	ユウ	きば (ガ) ゲ
		尻	畿	藩	措	玩	糾	窮	唄	遡	賜	畏	嫉	融	牙
		尻	畿	藩	措	玩	糾	窮	唄	遡	賜	畏	嫉	融	牙
		フ	ク	一	一	一	ク	、	、	、	、	、	、	一	一
		⑭ 頭隠して尻隠さず (しり)	⑬ 近畿地方 (きんき)	⑫ 廃藩置県 (はいはん)	⑪ 必要な措置を取る (そち 音・音) 取りはからうこと。	⑩ おまけの玩具 (がんぐ 音・音)	⑨ 不正を糾弾する (きゆうだん 音・音) 罪状を問いただし、内容を明らかにして、厳しく責任を追及し、非難すること。	⑧ 窮状を訴える (きゆうじよう 音・音) どうにもならず、困り果てて苦しんでいる様。	⑦ 長唄を聴く (ながうた 訓・訓) 江戸時代、三代目村屋重三郎が曲風を統一した三味線歌曲。歌詞は長く、浄瑠璃、歌謡から取る。江戸長唄 / 上方長唄。唄唄、小唄に対してや古典的な三味線歌謡。	⑥ 川を遡る (さかのぼる)	⑤ 栄誉を賜る (たまわる) 「モチウ」の謙譲語。いただく。 / 「あたえる」「くれる」の尊敬語。くださる。	④ 自然を畏れる (おそれる) 圧倒的な存在に対して、敬いの心が生じてかしまる。慎んだ態度になる。恐縮する。	③ 嫉妬心が芽生える (しつと) 自分よりも優れているもの、奪われているものをうらやみ妬むこと。	② 氷の融点は零℃です (ゆうてん) 【上の漢字が下の漢字を修飾する】固体が液体になり始める温度。	① 象牙の取引を規制する (ぞうげ) 【上の漢字が下の漢字を修飾する】

漢字のまとめ2

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 経験が 豊富 だ	【意味が似ている漢字の組み合わせ】 （ ） ほうふ （ ）	①7 言語道断	あまりにひどいこと。とんでもないこと。もっての外であること。 （ ） ごんごどうだん （ ）
② 長所と短所を 包含 する	【意味が似ている漢字の組み合わせ】 （ ） ほうがん （ ）	①8 当意即妙	即座に、その場にうまく適応した機転を利かせること。また、その様。 （ ） とういそくみよう （ ）
③ 光と闇は 表裏 一体だ	【意味が対になる漢字の組み合わせ】 （ ） ひようり （ ）	①9 川に橋を 架 ける	（ ） か ける （ ）
④ 在庫の 有無 を調べる	【意味が対になる漢字の組み合わせ】 （ ） うむ （ ）	②0 表に看板を 掛 ける	（ ） か ける （ ）
⑤ 損得 抜きにする	【意味が対になる漢字の組み合わせ】 【主語と述語の関係】 （ ） そんとく （ ）	②1 得るところが多い講義	（ ） え る （ ）
⑥ 頭痛 が悪化する	【主語と述語の関係】 （ ） ずつう （ ）	②2 生い立ちを 記 す	（ ） お い （ ）
⑦ 疑問が 氷解 する	【主語と述語の関係】 （ ） ひようかい （ ）	②3 事態を 收拾 する	混乱したものをうまく収めること。拾い収めること。片づけること。 （ ） しゅうしゅう （ ）
⑧ 船出 する	【主語と述語の関係】 （ ） ふなで （ ）	②4 彼には 収集 癖がある	一か所に寄せ集めること。 （ ） しゅうしゅう （ ）
⑨ 天皇が 讓位 する	【下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す】君主が位を譲ること。 （ ） じようい （ ）	②5 商品が 驚異 的に売れる	驚く、不思議がること。普通では考えられないような素晴らしい驚くべき事柄。現象。 （ ） きようい （ ）
⑩ 政府による新たな 施策	【下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す】行政機関などが施すべき対策。 （ ） しさく （ ）	②6 災害の 脅威 から身を守る	強い力や勢いでおびやかすこと。また、おびやかされることで感じる恐ろしさ。 （ ） きようい （ ）
⑪ 労働者を 解雇 する	【下の漢字が上の漢字の目的や対象を示す】会社が従業員の契約を切ること。 （ ） かいこ （ ）	②7 準備に時間を 費 やす	あることを済ますために、お金・時間・労力などを使ってなくすること。／むだに使う。 （ ） つい やす （ ）
⑫ 海賊	【上の漢字が下の漢字を修飾する】 （ ） かいぞく （ ）	②8 友達に 謝 る	（ ） あやま る （ ）
⑬ 入学式の 式次第	式の順序。式次。式の進行の順序を表記したものの。 （ ） しきしだい （ ）	②9 豚肉をいためる	【湯桶読み】熟語の組み合わせで、訓が先に音が後にくるもの。 （ ） ぶたにく 訓・音 （ ）
⑭ 日常 茶飯事	ありふれたこと。珍しくないこと。 （ ） さはんじ （ ）	③0 額縁 を 選ぶ	【重箱読み】熟語の組み合わせで、音が先に訓が後にくるもの。 （ ） がくぶち 音訓 （ ）
⑮ 一朝一夕	きわめて短い期間、時間のたとえ。わずかの時日。 （ ） いっちよういっせき （ ）	③1 中州に 渡 る	川の中などに土砂が積もり重なって、島のようになっている水上になつてゐる所。 （ ） なかす 訓・訓 （ ）
⑯ 傍若無人	人目をはばからず、勝手に振る舞う様子。勝手気ままな言動をする様子。 （ ） ぼうじやくぶじん （ ）	③2 麦が 黄金色 になる	（ ） がねいろ 訓・訓・訓 （ ）

漢字のまとめ2

教科書に登場する漢字の読み

送り仮名を意識して読みを（ ）に書きましょう。

① 神主	の話聞く (かんぬし 訓・訓)	①7 武者修行	武者者が修行のために、諸国を回って武術を磨くこと。
② 木刀	を構える (ぼくとう 音・音)	①8 江戸の敵	意外な所や時に筋違いなこと、過去の仕返しをすること。
③ 竹刀	を握る (しなない 熟字訓)	①9 口は災いの元	不用意に発言すると自分自身に災いを招く恐れがあるため、言葉は十分慎むべきだという戒め。
④ 店舗	を広げる (てんぽ 音・音)	②0 郷に入っては郷に従え	その土地、社会集団に入ったら、その土地、社会集団の習慣や風俗にあった行動を取るべきだ。
⑤ 老舗	の和菓子屋 (しにせ 熟字訓)	②1 腹が減っては戦ができぬ	空腹では身が入らないので、何事も先ずは腹をしらせてから、取りかかるのが肝要である。
⑥ 路面の凹凸	が激しい (おうとつ 音・音)	②2 安物買いの銭失い	安いものは品質が劣るから、傷んだり壊れたりしやすく、結局修理や買い直して高くつく。
⑦ 凸凹	の道を下る (でこぼこ 熟字訓)		
⑧ 黄砂	が観測される (こうさ 音・音)		
⑨ 庭に砂利	を敷く (じやり 熟字訓)		
⑩ 負けて残念	に思う (ざんねん 音・音)		
⑪ 彼の引退が名残	惜しい (なごり 熟字訓)		
⑫ 最短	ルートを行く (さいたん 音・音)		
⑬ 最寄り	駅に立ち寄る (もより 熟字訓)		
⑭ 感慨無量	<small>この上なくしみじみと感ずること。深く身にしみて感ずしみじみとすること。感無量。</small> (かんがいむりょう)		
⑮ 万有引力	<small>質量をもった全ての物体間に作用する引力。物体の質量の積に比例し、距離の二乗に反比例する。</small> (ばんゆういんりょく)		
⑯ 外科手術	(げかしゅじゆつ)		

漢字のまとめ2

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① ぞうげの取引を規制する (象牙)	①7 光と闇はひょうり一体だ (表裏)
② 氷のゆうてんは零℃です (融点)	①8 在庫のうむを調べる (有無)
③ しつと心が芽生える (嫉妬)	①9 そんなとく抜きにする (損得)
④ 自然をおそれる (畏れる)	②0 ずつうが悪化する (頭痛)
⑤ 荣誉をたまわる (賜る)	②1 疑問がひようかいする (氷解)
⑥ 川をさかのぼる (遡る)	②2 ふなで <small>する</small> (船出)
⑦ ながうたを聴く (長唄)	②3 天皇がじよういする (讓位)
⑧ きゆうじようを訴える (窮状)	②4 政府による新たなしさく (施策)
⑨ 不正をきゆうだんする (糾弾)	②5 労働者をかいこする (解雇)
⑩ おまけのがんぐ (玩具)	②6 かいぞく (海賊)
⑪ 必要なそちを取る (措置)	②7 入学式のしきしだい (式次第)
⑫ はいはん <small>置県</small> (廃藩)	②8 日常さはんじ (茶飯事)
⑬ きんき <small>地方</small> (近畿)	②9 いっちよういっせき (一朝一夕)
⑭ 頭隠してしり隠さず (尻)	③0 ぼうじゃくぶじん (傍若無人)
⑮ 経験がほうふだ (豊富)	③1 ごんごどうだん (言語道断)
⑯ 長所と短所をほうがんする (包含)	③2 とういそくみよう (当意即妙)

漢字のまとめ2

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

① 川に橋をかける	(架ける)	①7 しな	(ない) を握る	(竹刀)
② 表に看板をかける	(掛ける)	①8 てんぽ	(を広げる)	(店舗)
③ うるところが多い講義	(得る)	①9 しにせ	(の和菓子屋)	(老舗)
④ おい 立ちを記す	(生い)	②0 路面のおうとつ	(が激しい)	(凹凸)
⑤ 事態をしゅうしゅうする	(收拾)	②1 でこぼこ	(の道を下る)	(凸凹)
⑥ 彼にはしゅうしゅう癖 がある	(収集)	②2 こうさ	(が観測される)	(黄砂)
⑦ 商品がきょうい的に売れる	(驚異)	②3 庭にじやり	(を敷く)	(砂利)
⑧ 災害のきょういから身を守る	(脅威)	②4 負けてざんねん	(に思う)	(残念)
⑨ 準備に時間を ついやす	(費やす)	②5 彼の引退がなごり	(惜しい)	(名残)
⑩ 友達にあやまる	(謝る)	②6 さいたん	(ルートに行く)	(最短)
⑪ ぶたにくをいためる	(豚肉)	②7 もより	(駅に立ち寄る)	(最寄り)
⑫ がくぶちを選ぶ	(額縁)	②8 かんがいむりよう	(感慨無量)	(感慨無量)
⑬ なかすに渡る	(中州)	②9 ばんゆういんりよく	(万有引力)	(万有引力)
⑭ 麦がこがねいろになる	(黄金色)	③0 げかしゅじゅつ	(外科手術)	(外科手術)
⑮ かんぬしの話聞く	(神主)	③1 むしやしゅぎよう	(武者修行)	(武者修行)
⑯ ぼくとうを構える	(木刀)	③2 江戸のかたき	(を長崎でうつ)	(敵) (討つ)

漢字のまとめ2

教科書に登場する漢字の書き

送り仮名を正しく書き、漢字に直しましょう。

	①口は わざわい の元 (災い)	
	② ごう に入るとは ごう に従え (郷) (郷)	
	③腹が減っては いくさ ができぬ (戦)	
	④安物買いの ぜ に失い (銭)	
	□肉食動物の きば (牙)	
	□ いふ の念を抱く (畏怖)	
	□ きゆうち に立つ (窮地)	
	□ きゆうすれ ば通ず (窮)	

□**きゆうすれ**ば通ず (窮)

窮地に追い込まれてかえって思いがけない名案が浮かび、活路が開けるという意味

□**きゆうち**に立つ (窮地)

追いつめられた苦しい立場、状態。困り切った境遇。

□**いふ**の念を抱く (畏怖)

恐れおののくこと。